



妙義山 (2022・10・29)

Report by 堀

今年のクマさん会は晴続き。今日も朝から快晴です。

紅葉シーズン真っ只中のつもりで久しぶりの秋の妙義山でしたが、参加者は池戸さんと高橋（文）さん、堀の三名。

東京駅からとき 305 号自由席、大宮から池戸さんが乗り込んでくる。

高橋（文）さんは指定席のはずだ。



高崎で信越線に乗り換えて、
無事文さんと合流。



快晴である。

松井田が近づくと車窓からは
峨々たる山が見えてくる。



松井田駅。無人駅で駅前といっても何も無い。

そして 9:15 に予約しておいたタクシーも待っていない。

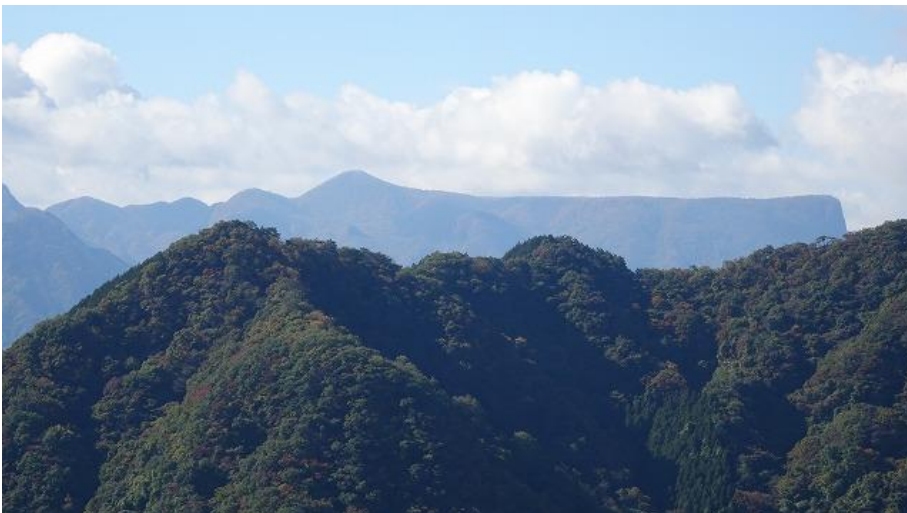
予約は 1 か月前だったので、一昨日、用心のために確認電話を入れたのに！

暫く待ったが来る気配が無い。タクシー会社に電話を入れると、忘れていたらしい。「済みません、これから行きます」だと。出足からこれではね。



忘れていたのは運転手さんという訳ではなさそうなので、あまり文句も言えない。

話し好きらしく、数年前に土砂崩れで石門は通行止めになって、東屋が潰れた。今は通行止めは復旧しているなどの話をしていた。その後、東屋が再建されたかどうか聞いたが、分からないとのことだった。妙義の紅葉の状況など話しながら“中の嶽神社”の駐車場に着く。



駐車場からは、今春登った荒船山（右端は艦岩）が見える。



ここで簡単にストレッチをして、
出発！
風は無く、寒くも無く天気は上々



今回は中の嶽神社ルートではな
く、クサリ場の連続する「石門巡
り登山口」へ。



登山口は車道を少し戻った所にあ
る。



道端には秋らしくススキがそよいでいる。



登山道入り口



登山口から直ぐに岩場が始まる。



私は妙義山に登るのは 2016 年以來である。6 年前はスイスイ登れたと記憶しているが…
6 年の経過を感じる。
もっとも、6 年前は中の嶽神社から登ったのでここは通っていない。



クサリ場の連続だ。
改めて調べるとこのルートは
2009 年以來。なんと 13 年ぶり！
昔はスイスイ、今はゼイゼイ！



クサリ場に可憐に咲く野菊



10:50 第四石門着。
ここで小休止。



石門の先には大砲岩が見える。





大砲岩に向かう。



ここは「黒田泣岩」というらしい。

先に見えている岩は「天狗の評定」

2019年の時は、布目さんはここで待っていて、“天狗の評定”に登った私たちをカメラに収めてくれた。



池戸さんと高橋（文）さんはここからクサリを下って大砲岩、天狗の評定に向かう。



私は前回の布目さんの役を引き受けるつもりで、黒田泣岩にとどまり、下界を眺めながら池戸さんと高橋（文）さんが天狗の評定に現われるのを今か今かと待つ。



周囲を眺めると、少しは紅葉している。

標高 1000m 程度のこの山では、全山紅葉というのは期待できないようだ。



しかし、待てども誰も現れない。同じ頃の下って行った他のパーティの人達も誰一人現れない。20 分も経ったであろうか。彼らが戻ってきた。

「大変だった。堀さん、行かないでよかったですねえ。」などとはざいている。



天狗の評定には行ったが、大砲岩には登らなかったとのこと。
一応、天狗の評定に行ったというそれらしい写真。
昼飯目指してさあ出発！



こんなオーバーハングの道を歩いた記憶はある。池戸さんはこのためにヘルメットを用意している。
しかし、そろそろ東屋が現れていい頃だが…
消失してしまったのか？



登っていく道があるが、下り専用と書いてある。
降りてきた人に「東屋ありましたか？」と聞いてみたら、「いえ、何にもありませんけど…アズマヤってなんですか？」
東屋の説明をすることになって・・・
コリヤ聴く相手を間違えた。



既に 12 時を廻った。東屋で昼食の予定だったが、東屋は無くなってしまったのか？
少し開けたところに差し掛かった
ので、ここで昼食とする。



昼食を済ませて暫く行くとなんと！東屋出現！
別段壊れたような気配はない。
運ちゃんのガセネタに振り回された。
20 分遅れでスタートしたことを
考えれば今頃で、格別遅いという
訳でもない。



東屋を過ぎると「第 2 見晴台付近の鋼製階段は現在通行できません」「現在、妙義神社及び中の嶽神社へは通り抜けできません」の表示がある。令和 3 年 12 月 22 日現在とあるが…中の嶽神社そのものは通っていないがそちらの方からここまで歩いて来たんだが・・・
真偽不明の情報に振り回される日だ。



本来はこの先に「本読みの僧」という石仏、更に「第2見晴台」に至るはずだが、近くで車の音が聞こえる。
紅葉などを写真に収めながらダラダラ下っていく。



なんと、中の嶽神社に登る県道に出てしまった。
東屋から妙義神社まではこれという所も無いのでまあいいかと・・・
お蔭で時間は少し短縮できた。



途中で地元の養蜂家が売店を出して蜂蜜を売っていた。
花を求めて群馬県と長野県を移動しているとのこと。
妙義神社へは少し戻らなければならぬので PASS。
「もみじの湯」に直行。



ここまで来て
山の中では見かけなかったアザミと
リンドウの花に出会う。



「もみじの湯」隣接の駐車場から。妙義山を背景に紅葉している。



「妙義ふれあいプラザ」の表示のある“妙義温泉もみじの湯”到着 14:15。15:45 にタクシーを呼んでおいてゆっくり入浴。



土曜日だがお客は少ない。
まずはビールで・・・

タクシー10分ほどで松井田駅へ。松井田駅発 16:07。高崎からは池戸さんと高橋（文）さんは“とき 330号”で、堀は東海道線直通の在来線で、夫々帰宅しました。

少々トラブルはあったものの、行楽日和で久しぶりのクサリ場クライミングを楽しみました。

以上